

<SIJE シンガポール国際宝飾展>

世界でのアジア圏の経済効果はもはや欧米圏のそれを大きく上回っているのが現状と聞く。そんな折友人からのシンガポール出展のお誘い。お勉強位の気分で決定。

SIJE デザイナーブース出展申請書、画像提出。間もなく事務局よりHPを見るようにとのメール。開くとズドンとBIZの作品3点。とここまでは良いが後はひたすら手間、時間もかかり難しい税関書類の作成と苦闘の日々。これは今回の同行者の方法。今までのシマダは遥かここに簡単な方法をとっていた。その格闘は往復の成田、シンガポール空港までも続き、更に展示会終了後の数日はホテルの部屋で終了後の書類作成。展示会場はマリナベイサンズの中。(最上階にプールのあるあの建物は相当に傾いて見える。その他の林立する高層ビルも夫々奇抜なデザインで危なく感じる)。そんなモダンな都会で人々の服装はカジュアル。簡単なサンダルにアクセサリ、帽子もない。しかし会場はちょっとお洒落した多くの女性達。今から発展していくのだろう。日本同様にここでもシマダの作品ではネックレスに関心が集まる。ロシア系と思しき女性が“この中では貴女がベストクリエイターよ”と声をかけてくる。そういえばNYでも“Japanの香りがする。新鮮でUniversalなデザインよ。Best Creator だわ。”と言った女性の言葉を思い出し、これからのシマダの目指すものが少し見えてきたような気がする。



<メダカ救出 パトカー出動>

出張先のお店で頂いた白メダカが愛らしい、癒されると人々から愛でられている。水質、温度にも配慮。水草と共に糞入れ陽除け簾も設置。シンガポールに行ってる間の世話はどうするの?と心配する方々。結局近い人に依頼、旅立つ。と、成田で“餌の箱がみつからない”と電話。“出すの忘れた。玄関にあるから”と入ってもらう。程なくして警備会社からの電話。“メダカの世話を依頼された〇〇様が玄関の鍵をあけ・・・”。またしてもシマダの大失態。帰国後、メダカ世話人は“いやあ、パトカーがいくつもびかびかしてサ”とのんびり。しかし玄関には詳細なメダカレポート。



しかも近隣ではその遠くまで騒ぎは及び、“金塊が盗まれたのか”“いや、何でメダカにパトカーがあんなに出るの?”と事の真相をシマダに直撃。騒ぎの大きさにシマダはまたションボリ。愛されすぎたメダカ騒動でした。

<納豆卵のソファ>

納豆の食べ方は夫々にこだわりとルーティンがある。ある人は“39回掻き回す”と言う。島田の納豆ルーティンはずっと変化していない。硬めの中粒をよく掻き回し、オリーブオイル、すりごま、じゃこ、刻みネギなどその日の気分で入れ攪拌。次に卵の白身だけを投入、混ぜる。半分の殻に入った黄身は定位置にあるメノールの結晶の半切りに置く。ごつごつした結晶の窪みに黄身の半分入った不安定な半身が安定する座り心地。白身のみに入った納豆はテキトーに攪拌。最後に黄身をポツと置く。食べるときは白身から、やがて少しずつ黄身を壊していく。最初から全卵を投入するのとは全く違う。この卵ソファは庭でみつけた。綺麗に彫刻された水晶や他の石(半貴石)達は室内の漆のガラス棚にある。庭にあるのはきっと使い物にならない部分なのだろう。せめて卵の椅子の役目ができただけこの石は良かったのかもしれない。



<ジャコメッティ展>

終了も迫る頃やっと念願のジャコメッティ展に行く。1973年池袋西武で見て以来。その思想を読んでもすぐ理解できるわけでもないのにどうして細長い像に魅かれるのか解らない。リトを除けばただ立っているだけの像。見たものを見たとおりに表現するとうなる、と言われても?。ひたすらに細長く立っている。又は1.5cmの女性像。何かの行動、感情表現もない。ただ前面、横、背面からと見る方向による違いは想像を覆す。サルトルはまさしく実存主義と言ったそうだがこれも解らん。思えば卒業、就職して1年たったかの頃、銀座の小さな画廊でジャコメッティのリト展があり仕事が終わると銀座に向かう事度々。すると画廊主の女性が“そんなにお好きならお買いになったら”と思いのしらない言葉に驚きつつも画紙両面のアトリエを描いたリトを買うことになり、月々五千何某を銀座に届けに行く。きっとその頃、スキーもコンサートも歌舞伎座にも行かずに払っていたのかと懐かしく思い出す。



<少々懲りすぎ、でも美しい2作品>



PN-0482
表面のみ研磨の色も形も美しい
ラピスラズリ
波うつ線にはダイアの雫
両端はルビーとサファイア



PN-0484
背面カットのアクアマリン
ダイヤをのせたハート型の
ダイオブサイトは王の杖のよう
うねって光るホワイトゴールド
も美しい

<ホームページが生まれ変わりました>

www.setuko.jp 又は B I Z 島田節子 と記入。スマートフォンでもご覧になれます。